

議事概要

令和3年度 第2回 新潟市若者支援事業運営協議会

日 時： 令和3年12月14日（火） 午後3時00分～5時00分

場 所： 新潟市万代市民会館 3階 307・308研修室

出席者： 新潟市若者支援事業運営協議会委員

青山委員、丸田委員、横尾委員、渡邊委員
事務局

地域教育推進課長ほか8名

傍聴者： なし

1 開会

2 地域教育推進課長あいさつ

3 日程説明

4 新潟市若者支援センター「オール」見学

(1) 順路説明

(2) 施設見学

5 議事

(1) 第1回運営協議会でのご意見に対する回答

(2) 相談業務の現状と課題

(3) 他機関との連携の現状と課題

(丸田委員) 前回、委員の方々からいただいた意見をまとめると、1点目はオールにおける居場所の機能をどのように考えていけばいいのか、2点目は家族機能の低下や多様化などを背景とした疾患像におさまらない若者、高校でもわかりきれない若者、警察の対応が必要なSNSの問題をかかえている若者等に対する相談機能をオールがどのように果たしていくか、3点目は福祉分野における地域支援との連携をどう進めていくか、その辺でフリーな議論をしたい。

(青山委員) 作業所はまだ無理で、学校はもっと無理というような若者にとっては、オールはすごくありがたい場所で、病院みたいな雰囲気嫌がる若者もいるので、病院でない場所として活用することを期待している。ミニ講座や

支援事業など何か作業を介在することでストレスが軽減されて、直接対面とはまた別な力として入ってくる。何か介在することで、自然に社会技能が身に付くのはとてもいいこと。

(横尾委員) 新潟市社会福祉協議会では、社会参加や体験の場として福祉教育を根っこにした共生社会プログラムのものをたくさん準備しているので、ぜひ参加してほしい。一緒にプログラムを考えると、一度そういった話し合いができる機会があるとありがたい。

(渡邊委員) ひきこもり相談支援センターでも、月3、4回は居場所をやっており、その居場所とオールの居場所がリンクできればいいと思っている。本来は、どんどん居場所が大きくなっていく、少人数制から少しレベルアップしていくというように、次につながっていければいいと思うので、それぞれの関係機関でやっている居場所やフリースペースが話し合っ、段階というところで用意ができるといい。

(横尾委員) 今いろいろな居場所が立ち上がっているが、それぞれの特色がわからないと、なかなか適性のところに行けない。関係者のネットワークというか、情報交換会があるとすごくいい。

(丸田委員) 今日はオールを見て、現状と課題について説明を聞き、意見交換したが、そのことを踏まえて、第3回目で、これからのオールの在り方を検討したい。

(4) その他

6 閉会

【配布資料】

- ・資料1 若者支援センター「オール」リーフレット リニューアル実施計画
- ・資料2 令和3年度「新潟市若者支援者養成講座」
- ・資料3-1 令和3年度 新潟市若者支援協議会全体会議 次第
- ・資料3-2 新潟市若者支援協議会設置要綱
- ・資料3-3 別表第1
- ・資料4 令和3年度 スーパーバイズ 実施状況
- ・資料5-1 新潟市ユースアドバイザーに関する要綱
- ・資料5-2 令和3年12月 新潟市若者支援センター 居場所勤務表
- ・資料6 令和3年度 ユースアドバイザー 運営委員会・全体会開催状況
- ・資料7 相談窓口の流れ
- ・資料8 新潟市若者支援センターの評価について (お願い)
- ・資料9 新潟市若者支援センター「オール」